



広報きたあきた 市民の皆さんと共に歩んで 200号

◆お陰様で 200号達成!

北秋田市誕生後の「広報きたあきた」は創刊号（平成17年4月1日発行）から数えて、今号で200号を迎えることができました。

いつも読んでくださる市民の皆さんをはじめ、広報紙の作成や配布などにご協力いただいた関係者の皆さんには心から感謝いたします。今後も市民の皆さんに親しまれる広報紙づくりに取り組んでいきますので、これからの「広報きたあきた」もよろしく願います。

今回は「広報きたあきた」に関する情報と表紙でこれまでの出来事を振り返ります。

◆ 広報紙の編集方針

表紙は、最近の行事や市内の風景など一枚写真を掲載。2ページからは、市政情報や特集記事などをまとめ、トピックスや地域の話、学びの広場のコーナーでは、市民の皆さんの活動などを紹介しています。今年度は、環境コラムや市内企業の紹介など、新しいコーナーにも取り組んでいます。

また、お知らせコーナーでは、公民館行事やスポーツ大会の予定をはじめ、健康情報、夜間当番医、慶弔だよりなど、市民の皆さんが参考と

なる情報を各分野ごとにまとめて掲載しています。

◆ 発行部数や 1部あたりの単価は

毎号の発行部数は1万4400部。市内の全戸と公共施設等に配布しているほか、市外の方で郵送を希望する方に有料で送付しています。発行部数は年々減少しています。

1部あたりの印刷代は、カラー印刷のページ数によって変動しますが、10月号（28ページ）は約78・7円、今号（24ページ）は約68・3円です。財政面を考慮しながらも、視覚的な効果も考えながら、紙面づくりをしています。

◆ 市ホームページと連携

広報紙は、実際に手にとって読むことができますが、月1回の発行のため、出来事などの紹介は1か月の情報をまとめて掲載しています。

市のホームページでは、取材した出来事をいち早く紹介しているほか、市民の皆さんに必要な情報を随時お知らせしています。

今後も両方の良さを生かしながら連携を図り、相互に補完しながら、幅広い世代の方々に、必要な情報を伝えていきます。

第50号

平成19年4月16日発行



竜森小学校の入学式では、先生の手を引かれて入場した新入生が、上級生のアタかい拍手で迎えられ、緊張しながらも「勉強を頑張りたい」と学校生活を楽しみにしていました。

第100号

平成21年7月1日発行



100号を記念し、表紙を全面写真にしたデザインに変更。「広報きたあきた」のロゴも一新しました。新緑の木々が芽吹く中を雄大壮美に流れる安の滝が印象的です。

第114号

平成22年9月1日発行



鷹巣体育館で開催された大相撲夏巡業で、地元で凱旋した豪風関は「夢にまで見た北秋田場所を盛り上げた」と意気込みを語り、豪快な取組で満員の観客を喜ばせました。

第120号

平成23年3月1日発行



あきた鹿角国体のスキー複合競技では、高橋大斗選手が優勝したほか、各部門で小林範仁選手、湊祐介選手、加賀巧哉選手が2位の成績を収めるなど、北秋田勢が大活躍しました。

第132号

平成24年3月1日発行



厄払いを祈願した33歳の女性たちは、にぎわいづくりに貢献しようと、古式ゆかしい艶姿で鷹巣駅前を目抜き通りを行進し、集まった市民や買物客から注目を浴びていました。

第165号

平成26年12月1日発行



合川小学校の新校舎が完成し、合同見学会が行われました。児童たちは、木のぬくもりが感じられる真新しい校舎を見て回り、春からの学校生活に期待を膨らませました。

第175号

平成27年10月1日発行



国民文化祭の魚座造船所プロジェクトで制作された大型木造船を背に「魚座造船所ライブ」が開催され、出演団体が熱いパフォーマンスを披露し、浦田の夏を締めくくりました。

第188号

平成28年11月1日発行



大綱引き大会では、秋田北鷹高校の生徒たちが、こん身の力を込めて綱を引き合う姿に、多くの市民から声援が送られ、歓声が響きわたる商店街は活気に満ちあふれていました。